

JERコンクリート補改修協会

・ブースの基本コンセプト

下水道自立マンホール更生工法「ジックボードVG工法」を中心に、施工手順を分かりやすくアニメーションで紹介する動画を放映し、来場者さまに興味を持っていただけるブースづくりを行います。また、新規開発工法「ジックテクトVE工法」をはじめとする各種塗布型ライニング工法のサンプルや、「ジックボードT工法」の大型模型も展示します。

・今年のこだわり

①「ジックテクトVE工法」は、従来のFRP防食工法で必要となるガラスマットへの含浸・脱泡工程を必要としない、ビニルエステル樹脂塗布型ライニング工法です。特殊ガラス短繊維補強材を配合したビニルエステル樹脂を、ローラーやコテ、刷毛などの一般的な塗装用具で施工し、防食被覆層を形成します。

②「ジックボードVG工法」は、腐食や老朽化により耐荷力が期待できない既設マンホールを、更生材のみで新設マンホールと同等の性能を

有する構造に更生する工法です。従来工法と比べて施工工程を簡略化し、工期の短縮を図っています。非開削で施工できるほか、夜間や休工日の道路開放が可能で、省スペースな作業ヤードにも対応します。

③シートライニング工法「ジックボードT工法」は、高耐久性ビニルエステル樹脂FRP板の裏面に立体クロスを一體成形した成形板「ジックボード」を、特殊無機系モルタルを介して躯体コンクリートに固着・一体化し、防食被覆層を形成するコンクリート防食工法です。

・来場者へのメッセージ

私たちは、国民生活に欠かすことのできない水インフラを守るため、防食技術のさらなる向上に取り組んでいます。これまで補修事業で培ってきた経験やノウハウを生かし、新たなコンクリート補修技術の開発にも注力しています。老朽化したインフラの修復や災害への備え、日常的な維持管理など、日本社会が抱える課題に真摯に向き合い、技術の進化とお客さまへの価値提供を通じて、社会に貢献してまいります。

